

UHFアンテナ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

AN-820

Sony Corporation © 2008 Printed in Korea

安全のために

ソニー製品は安全に十分に配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

「安全のために」の注意事項を守る

下記の注意事項をよくお読みください。

定期点検を実施する

5年に1度ぐらいは、内部の点検についてお買い上げ店またはソニーの業務用商品相談窓口にご相談ください。

故障したら使用を中止する

お買い上げ店またはソニーの業務用商品相談窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- | | | |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 煙が出たら 異常な音、においがしたら 内部に水、異物が入ったら 製品を落としたり、破損したときは | ➔ | <ol style="list-style-type: none"> 電源を切る。 すべての接続ケーブルを抜く。 お買い上げ店またはソニーの業務用商品相談窓口修理を依頼する。 |
| <p>炎が出たら</p> | ➔ | <p>すぐに電源を切り、消火する。</p> |

警告表示の意味

この取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる場合があります。

注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



注意

下記の注意を守らないと、けがをしたり周囲の物品に損害を与えることがあります。



ケーブルを引っ張らない

無理に引っ張ると、接続されているアンテナやチューナーなどが落下し、けがの原因となることがあります。



設置後は、本体に無理な力を加えない

ぶらさがったり、物をひっかけたりしないでください。壊れたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



本体を改造しない

故障や事故の原因となる場合があります。

分解禁止



不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となる場合があります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。



DC入力端子に規格以外の入力電圧をかけない

DC入力端子に規格以外の入力電圧をかけると、火災や感電の原因となります。



油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所やこの取扱説明書に記されている使用条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となる場合があります。

本機の概要

UHFアンテナ AN-820は、ソニーワイレスマイクロホンシステムの受信アンテナです。

- ブースターアンプを内蔵しており、電波をアンテナ内で増幅してから受信機（チューナー、チューナーベースユニット、アンテナディバイダーやデジタルパワードミキサーなど）に送り出します。これにより、長いケーブルを接続した場合の損失も補償されます。ブースターアンプ用の電源は、接続した受信機から供給されます。
- 接続機器からの供給電源により、ブースターアンプの利得が自動的に切り換わります。
 - DC 9 V 供給時：利得 10 dB
 - DC 12 V 供給時：利得 18 dB

ご注意

この機能は、ブースターアンプへの供給電源が9 V/12 Vで切り換え可能な機器と接続された場合にのみ有効になります。供給電源が9 V固定の機器と接続された場合の利得は、10 dB固定です。

- 本機はダブレットアンテナとブースターアンプを内蔵しており、取り付け、取り扱いが容易であるとともに、形状・外観も取り付け場所のインテリアなどに調和するデザインとなっています。
- 防滴構造（JIS防滴II型*）ですので、屋外の軒下などにも設置が可能です。

* JIS防滴II型：鉛直方向から15度の範囲で落ちてくる水滴によって有害な影響のないもの。

主な仕様

受信周波数帯域	770～810 MHz
ブースターアンプ利得	10 dB ± 2 dB (DC 9 V 供給時) 18 dB ± 2 dB (DC 12 V 供給時)
出力インピーダンス	50 Ω
VSWR	3以下
雑音指数	4 dB以下
3次相互変調	60 dB以上 (85 dBμV _{EMF} 入力時)
出力コネクタ	BNC-R型
電源電圧	DC 9 V/12 V
消費電流	50 mA以下
許容動作温度	0℃～50℃
許容保存温度	−20℃～+60℃
外形寸法	70×117×132mm (幅/高さ/奥行き)
質量	250 g
付属品	アタッチメント (A) (1) アタッチメント (B) (1) 取り付け用ねじ (1式) 取扱説明書 (1) 保証書 (1) ソニー業務用商品相談窓口のご案内 (1)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

警告 下記の注意を守らないと、感電・落下により死亡や大けがなどの原因になることがあります。

指示 **設置は専門の工事業者に依頼する**
設置については、必ずお買い上げ店またはソニーの業務用商品相談窓口にご相談ください。壁面や天井などへの設置は、本機と取り付け金具を含む重量に充分耐えられる強度があることをお確かめください。十分な強度がないと、落下して大けがの原因となります。また、一年に一度は、取り付けがゆるんでいないかどうかを点検してください。

禁止 **天候の悪い日は取り付け作業を行わない**
風で部品が飛ばされて人や物に危害を加えたり、雨や雪のため滑りやすく転んでけがをするなど危険です。

指示 **危険な場所での取り付けおよび危険をとまなう作業は、必ず専門業者に依頼する**
屋根の上や高所の外側、壁面などから滑り落ちたら危険です。また、電線のそばの設置も感電の原因となり危険です。

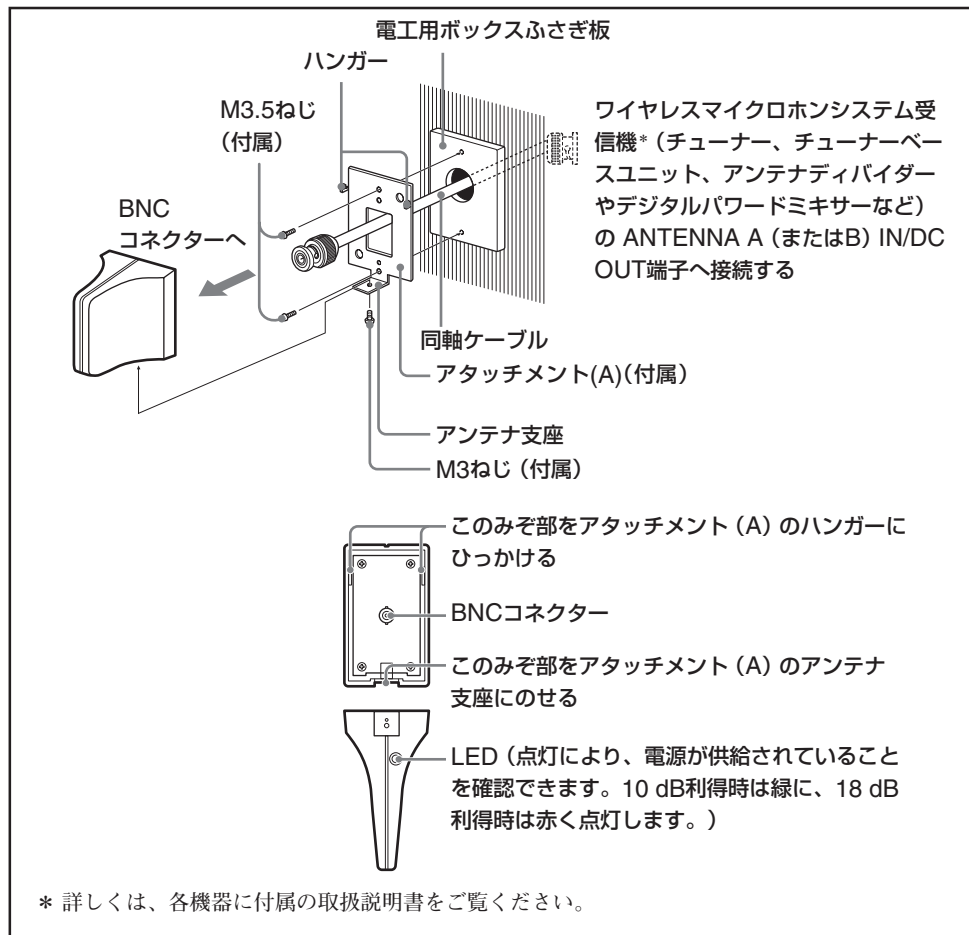
注意 **高所での取り付け時、本体や部品類の落下に注意**
落下により下にある物を壊したり、下にいる人にあたって死亡やけがをさせることがあります。

注意 **組立時、ねじ、ボルト類は確実に締める**
ゆるいと、ずれたり落下してけがの原因となります。

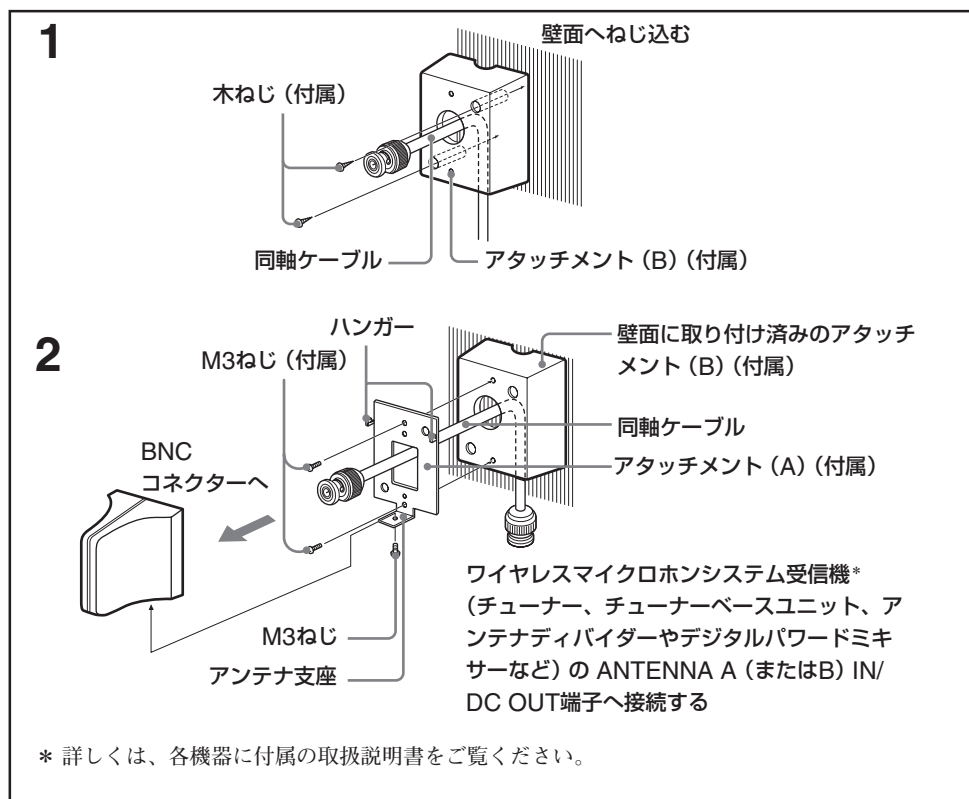
接触禁止 **雷が鳴り出したら本体には触れない**
感電の原因となります。

取り付け

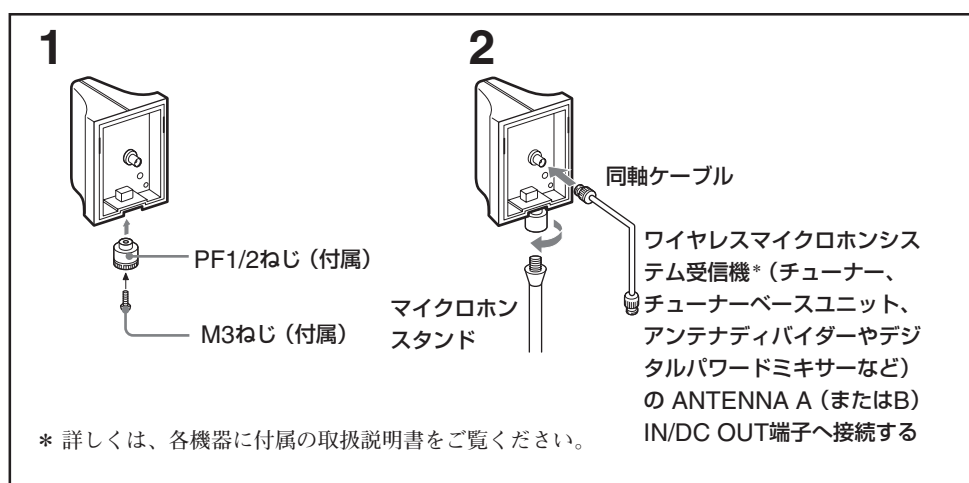
電工用ボックスへの取り付け



壁面への取り付け



マイクロホンスタンドへの取り付け



アンテナ設置上のご注意

- アンテナは必ず2個1組とし、互いに1 m以上離して、ワイヤレスマイクロホンやトランスミッターの使用範囲から直視できる位置に設置してください。
 - 次のような場所や位置には取り付けないでください。
 - 天井や壁などの内装材の裏側
 - 窓、金属板、電気器具(照明器具、電動機、エレベーター、配電盤など)、電子機器(コンピューター、調光器、テレビ、テレビカメラなど)の近く
 - 人や機材の移動によってアンテナが破損するおそれのある位置
 - 利得の設定が可能な機器とアンテナを接続した場合、利得設定を18 dBとするための同軸ケーブル長の目安は、5D-2V使用時で約50 m以上です。ただし、使用条件によっては、利得が過剰になる場合がありますので、実動作確認を行った上で利得を設定してください。
 - アンテナを受信機(チューナー、チューナーベースユニット、アンテナディバイダーやデジタルパワードミキサーなど)に接続する同軸ケーブルは、50 Ω系の5D-2V以上を推奨しますが、75 Ω系の5C-2V以上のケーブルを使用することもできます。
- 信号の損失例： 5D-2V 50 mで12.5 dB、100 mで25 dB
5C-2V 50 mで13.5 dB、100 mで27 dB

ご注意

同軸ケーブルの信号損失は、50 Ωと75 Ωの違いよりもケーブルの長さの違いによる影響が大きいため、同軸ケーブルはなるべく短くして使用してください。

受信機(チューナー、チューナーベースユニット、アンテナディバイダーやデジタルパワードミキサーなど)との接続については、接続機器に付属の取扱説明書も併せてご覧ください。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

万一故障した場合は、内部をあけずに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

お問い合わせは

「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>